



こんにちは、岡田よしひでです

2024年2月18日発行
県議会活動報告ニュース
NO.201

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

春野で農業問題学習会

春野の皆さんから農業問題について学習したいので講師として来てほしいとお呼びがかかり行ってきました。皆さんに見ていただく資料として私の作ったレジメと12月定例会の代表質問で参考にした共産党国会議員団の資料、本県の今年度の農業施策についてのプリントなどを持って伺いました。いま県下各地で進められている、今後の農地の集積や担い手をつくる地域計画の話し合いについて、先日、私が地元の話し合いに参加したことも含めて報告しました。農家の高齢化が進み地域農業の将来があやぶまれる一方、



春野で農業学習会の講師を務める (1月31日)

若い意欲のある農家も存在しています。地域計画の話し合いに限らず、地域の実情を具体的に把握し、共有し、地域の将来ビジョンを地域の人たちでよく話し合うことが大切だと考えます。

2月1日の南国市若手農業者座談会には27人が参加し、4班に分かれて意見交換したと聞きました。こうした若い世代の横のつながりを強めるとともに、幅広い人たちの地域での話し合いを行政がサポートすることが求められています。

岸田政権は今国会で1999年(平成11年)制定の食料・農業・農村基本法を改定する方針です。改定に向けた政府の答申は、食料自給率が38%に落ち込んだことへの反省がありません。一方で、輸入途絶などの「不測時」に作付け転換などを命令できる法制を検討しています。農業の持続的な発展が図られるよう、国や県に農家の願いをしっかりと届けていかなければなりません。

教育長交渉

国民大運動の教育長交渉が8日、県庁であり傍聴しました。教職員の処遇改善、採用試験の改善などを求めました。



国民大運動の教育長交渉 (2月8日)

小津高校生との意見交換会

主権者教育の一環として、毎年母校で高校生と県議との意見交換会を開いています。私は毎年参加しており、今年は小津高校へ行ってきました。同校では高校生が80ものテーマで研究しているのと、その内「地域公共交通」と「災害避難所」についての研究発表を聞き、意見交換しました。よく研究しています。



小津高校で意見交換会 (2月5日)

おむすび通信 (201)

1月から多くの会議や交渉が続きあつという間に日が過ぎました。2月4日には第66回日本共産党県会議が開かれ、春名なおあき県委員長が再選。会議には広田一参議院議員、立憲民主党県連の武内則男代表、社民党県連の久保耕次郎代表、新社会党県本部の浜田太蔵代表からメッセージが寄せられました。2月定例会が21日開会と迫ってきました。質問準備です。